

西暦(時期区分)	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018												
主な視点	【第1期】 QC/TQC期										【第2期】 モデルベース期										【第3期】 モデルベース/課題ベース混在期										?																													
IT環境	汎用機・オフコン中心										インターネット普及 ADSL										SNS普及										ニコ動	LINE																												
Windows(Ver)											「ネオダマ」オープン化										スマートフォン普及																																							
景気	1960~1985 高度成長期(品質立国日本・モノづくり大国日本)										バブル景気										失業者→ 3.0%										5.4%																													
品質・価値の変化	モノづくり⇒品質・効率の追求/製品品質保証(守り)										失われた10年(景気悪化)										品質の多様化・高度化/CSと創造・コづくり⇒サービス品質保証(攻め)																																							
TQC/TQM	NEC-SWQC活動										▲NEC「ソフトウェアの総合的品質管理」										JUSE TQM9000研究会 ▲TQM9000/ISO9000とTQMの融合(1989.6)																																							
QS・QMSの流れ	▲新QC七つ道具(1977.1)										▲富士通「あゆみ」活動										▲富士通が「あゆみ」活動で第22回石川賞受賞										TQM標準化調査研究委員会 ▲TR0005(持続可能な成長の指針)																													
↓ 各セクター規格へ	QC手法開発部会(1972.4)										新QC七つ道具研究会										▲「やさしい新QC七つ道具」(1984.6)										▲「21世紀へのソフトウェア品質保証技術」										▲TR0006(自己評価の指針)																			
ISO9001国内認証件数											▲ISO9001-9002-9003(製品QA)										▲Software系国内認証開始										▲ISO9001:2000(製品&サービスQA⇒CS)										▲ISO9001:2008										▲ISO9001:2015									
SW-CMM・CMMI	▲「Quality is free」										▲「Managing the software process」(1989)										Watts.S.Humphrey氏来日(2000.6)▲										▲「ソフトウェアでビジネスに勝つ」(2003.5)																													
	▲「クオリティ・マネジメント」(1980.5)										▲SW-CMM質問書公表										▲「ソフトウェア能力成熟度の改善」(1991.9)										▲日経記事:官公庁調達にCMMI日本版CMMI騒動																													
	JISA STANDARD Vol.6(1991.1)「SPAの国際規格化とトライアル参加のお願いについて」▲										▲bit誌「日本におけるCMMI導入を考える 入門的解説」(1998.3)										▲日経コンピュータ(2001.7)「CMMIで陥りがちな「真」を理解せよ」																																							
											▲富士ゼロックスにおけるソフト開発プロセスの改善例 米CMUの「CMMI」を適用「日経コンピュータ」(1998.9)▲										▲JISA会報(2002.7)「品質保証活動とプロセス改善」																																							
											「ソフトウェアの品質保証」ISO9000-3対訳と解説(1992.9)										▲「ソフトウェアの品質保証」ISO9000-3対訳と解説(1992.9)																																							
											2000 3000 5000 7000 10000 15000 21000 28000 33000 40000 42500 44000 43000 41000 39500 37000 37000																																																	
SPICE~15504 セクター規格へ											▲SPICE原案開発										▲原案改良										▲SPICE user group結成(自動車・医療など)																													
国際標準化											SPICE試行										Automotive SPICE研究会活動 ▲完全										Automotive SPICEモデル発行 ▲AutomotiveSPICE v2.5																													
統合化											ISO15504P1~P4発行										▲ISO15504P5発行(全完成)										▲ISO33001~4+20																													
適合プロセスモデル											※SPEAK開発										▲SPEAK-IPA初版										▲SPEAK-IPA& ▲SPEAK-IPA改訂2																													
個別プロセス特化モデル 例:テストプロセス											▲SW-TMM										▲TMMI Foundation設立										▲TMMI Ver1.0																													
											▲TP1初版										▲TMMI Ver2.0										▲TP1 NEXT?																													
																					▲TMMI Ver3.1																																							
Agile関連											▲パターン言語										Systems Appro ▲Systems Approach事例										SLIM活動(SaPID)																													
課題ベース改善	▲Harvard Business Review (1986.2)										▲クリスタル										▲リファクタリング										▲ユーザ駆動開発FDD(訳本2003年発売)										▲リーンソフトウェア開発																			
	「The New New Product Development Game」										▲XP(訳本2005年発売)										プロセス改善なぜなに編(IPA/SEC)(2007)▲										▲SPINA3CH初版																													
	野中郁次郎・竹内弘高										▲適応型ソフトウェア開発(訳本2003年発売)										▲VSE-SPINA3CH開発 ▲VSE-SPINA3CH規格										▲KWS振り返り																													
											▲ふりかえりガイド初版										▲ISO/IEC TR 29110-3-4																																							